

「ご注文はお決まりですか？」

まちづくり



出前講座



主なメニューはこちら

本市では、「みんなでつくるまちの基本条例」「地域分権の推進に関する条例」などを施行し、皆さんと協働したまちづくりに取り組んでいます。この取り組みをより一層進めるために、市職員が講師を務め、制度や計画、事業などを分かりやすく理解していただくための「まちづくり出前講座」を実施しています。

出前講座をご利用ください

「まちづくり出前講座」はメニューの中から皆さんに講座の内容を選んでいただき、市職員がその内容に応じて講師を務めるものです。

これまでに自治会や各種団体からの依頼を受け、出前自主防災組織説明会や新型インフルエンザに備えようなどの出前講座を実施しました。皆さんもぜひ、「ご利用ください」。

「ご注文は市役所まで」

出前講座は市民と市内に通勤・通学する方が10人以上集まれば開催します。

実施日は平日の午前9時～午後9時（1講座90分以内）で、場所は原則市内。必要な施設は皆さんでご用意ください。

費用は無料ですが、教材費や実費を負担していただくことがあります。なお、受講希望日の2週間前までに受講申込書（市ホームページからダウンロード可）を提出してください。

申し込みは広報広聴課（754・6202）

日時の確認などがありますので、申し込み前に必ず電話でお問い合わせください。



Menu

広報紙の作り方「読んでもらえる紙面づくり」

出前自主防災組織説明会「自主防災組織結成に向けて」

市の財政状況について「池田市の台所事情」

財政のしくみ「池田市の予算ができるまで」

ごみの減量と指定袋制「ごみの減量をみんなで考えてみませんか」

消費者トラブルに遭わないために
新・いけだ子ども未来夢プランについて「池田市の子育て支援と少子化対策の現状と課題」

新型インフルエンザに備えよう「備えあれば憂いなし」

池田市の住宅施策「住んでよかった住みたいまちいけだ」

わが家の耐震チェック「地震に備えて

詳しいメニューは、市ホームページに掲載しているほか、市役所などに置いています。

耐震診断を」

五月山の保全と活用、市民協働のみでのまちづくり

くらし・環境講座「まちの環境をみんなで考える」

あなたの家庭は大丈夫？「住宅火災警報器をつけて安心な家庭」

教育委員会の主な事業と教育予算「教育委員会の役割と教育予算について」

図書館の便利な使い方「図書館のこんなサービス知ってますか？」

池田の歴史と文化

市議会の役割としくみ

利用上の注意

講座の実施などの詳細については、各メニューの担当課と調整してもらいます。また、場合によっては希望に応えられないこともありますので、ご了承ください。



上杉本「洛中洛外図屏風」(部分)、米沢市上杉博物館所蔵



市史編纂だより

「毛氈鞍覆と池田氏」 上杉本「洛中洛外図屏風」 の貴人の行列

戦国時代について、「麻のごとく乱れた」とか、「下剋上時代」といった表現がよく使われます。これが戦国期社会の一面をよくとらえていることはいうまでもありません。しかし人間の社会が単純に割り切れるようなものでないことは、いつの時代も変わりません。武家社会の身分秩序は室町幕府三代将軍・足利義満のころから整備され、身分・格式や

武家故実が確立していきませんが、こういった問題に広く関心が寄せられたのも戦国時代の一つの特徴でした。この時代の将軍が大名や有力国人に授与したステイタス・シンボルともいべきものに、毛氈鞍覆・白傘袋があります。当時の京都の風俗を今に伝える上杉本「洛中洛外図屏風」にも描き込まれています。それが左隻第三・四扇の輿に乗る貴人の行列図です。

毛氈鞍覆とは引馬の鞍を覆う毛氈の覆いのことで、公方(将軍)邸の門前の方へ向かう行列の先頭の馬にかけられています。また、白傘袋とは長柄の妻折傘を入れる白い袋のことで、輿のすぐ後ろの人物が担いでいます。

毛氈鞍覆・白傘袋の資格

外出時に威儀を示す赤い毛氈鞍覆の引馬が許される者について、中世の故実書などには「引馬の事」として、次のように記されています。

「三職・御相伴衆・吉良殿・石橋殿・土岐殿・六角殿、いづれも輿の先へ引かれ候。その外の衆は輿の跡に引かれ候。又、赤き毛氈の鞍覆八、公方様の御物の外八、大名随分の衆ばかり、いにしへ懸けられ候つる」

すなわち、三職(三管領)・御相伴衆(大名のうちから特に器量を選ばれ公方様お成りのときにお相伴した者)、吉良・石橋(足利一族)、土岐・六角(国持衆)の場合は輿の前、

そのほかは輿の後と、その行列における引馬の位置まで定められています。毛氈鞍覆の使用は公方と「大名随分の衆」に限定されていました。白傘袋についても故実書は公家門跡のほか、「武家には大名その外随分の衆ならではさされ候はず」と述べています。これらが決して空文でなかったことは、先の貴人の行列図から確認されます。本来は守護大名そのほかの有力者に限られた特権だったのです。

ところが、戦国期になると状況が大きく変わってきます。これまで授与の範囲外におかれていた新興の国人らにも、着用が許されるようになりました。有名な上杉謙信もその一人ですが、池田氏はその先駆的な存在でした。

さて、これから三回にわたり、池田氏の毛氈鞍覆にまつわる問題を取り上げていきます(次回へ続く)。

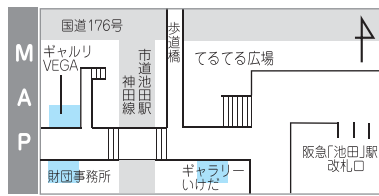
市史編纂委員会委員・丹生谷哲一

池田市史の刊行状況

『新修池田市史』第1巻3500円、第2巻4200円、第3巻5400円、第5巻4500円、第4巻(現代編)は編纂中。

問い合わせは社会教育課市史編纂
(753・2904)

ギャラリーコーナー



【ギャラリーいけだ】

| | |
|--------------------------|-----------|
| 造形作家・西村滋展 | |
| - 造形作家が描いた200人・「ひと・人・ヒト」 | 1/6 ~11 |
| 木村雅年「ポーランド紀行」 | 1/13 ~18 |
| 櫻井聡「イタリアを描く」展 | 1/20 ~25 |
| 染・二人展(森光男・山本正二) | 1/27 ~2/1 |

【ギャラリーVEGA】

| | |
|---------------------|-----------|
| 勝山正則木版画展 | 1/6 ~11 |
| 新春互次元展 | 1/13 ~18 |
| 新春ほっと展 | 1/20 ~25 |
| 第11回京都市きもの絵師とその仲間達展 | 1/27 ~2/1 |

【開館時間】10:00~19:00(1/13~18のギャラ

リーいけだは18:00まで、1/6~18のギャラリーVEGAは11:00~18:00)、最終日は16:00まで
【休館日】~1/5、火曜日
【入館料】無料
【使用料】
ギャラリーいけだ 5万円(展示販売不可)
ギャラリーVEGA 15万円(ブロックの分割使用=7・10万円=、展示販売も可)
【使用期間】水~翌週月曜日の6日間
【申し込み】使用希望月の1年前から

使用申し込みは
いけだ市民文化振興財団
(750・3333)